



ひびきあう心で 戦争体験を語ろう

—憲法9条・25条を忘れまじ—



相模川の鮎釣り (川瀬秀雄さんの作品)

目次

- 総会案内……………①
- 総会議案……………②～⑤
2008年度経過報告／同会
計報告／同会計監査報告
／2009年度活動方針案／
同予算案／役員改選
- 会員紹介「亀井禎子さん」
／こだま俳壇……………⑥
- 趣味の会／予告……………⑦
- 趣味の会／投稿「山作り・
里山のボランティア」(雨
宮和雄さん)……………⑧

退職者こだま会 第25回定期総会のご案内

- とき
6月24日(水)
午後1時30分～4時30分
- ところ
神奈川県自治会館
7階701号室～703号室
電話045-664-7500
- 交通
桜木町又は横浜駅から、バス
で「神奈川県自治会館前」下車
徒歩1分。地下鉄みなとみら
い線「日本大通り駅」下車3
番出口徒歩3分
- 総会議案(2～5頁参照)
- 展示コーナー
俳句・写真他
- ☆ 懇親会
総会終了後、2階の『ラウン
ジはま風』で懇親会を開きま
す。お誘いあわせのうえご参
加を(会費2000円)

ご案内

神奈川県職労連 退職者こだま会 第25回定期総会

知恵を出し合って

緑に風薫るこの頃、みなさんお元
気にお過ごしのことと存じます。

昨年は、アメリカのサブプライム
ローン問題に端を発した経済危機が
深刻化し、世界全体に波及しました。
日本では大量に生み出された派遣
や請負などの非正規労働者の大量解
雇が発生し、社会問題になっていま
す。各地に「派遣村」が誕生し、貧
困と格差の根絶をもとめる連帯の運
動が大きく広がっています。
また、定額給付金と引き換えの消
費増税の法制化問題、自衛隊の海
外派兵の拡大、基地の強化、引き続
く食品偽装問題や消えた年金問題な
ど、私たちの生活に直結する問題が

山積しています。

総会ではこうした生活のこと、健
康のこと、社会問題などを話し合い、
運動の経験を交流しましょう。知恵
を出し合って「こだま会」の方針を
豊かにしていきましょう。

みなさん、お誘いあわせてご参加
ください。退職されて未加入の方も
来場、入会大歓迎です。語り合い、
交流を深めましょう。

親睦会で交流を

総会の終了後、神奈川県自治会館2
階の『ラウンジ・はま風』で、恒例
の親睦会を開きます。約1時間、軽
食をとりながら楽しいひとときを過
ごしましょう。

神奈川県退職者こだま会第25回定期総会議案

2008年度経過報告

I はじめに

この数年間、政府は所得税から配偶者特別控除38万円の廃止(04年)、寡婦・老年・障害者控除48万円廃止、定率減税の段階的廃止、低所得高齢者の非課税限度額の廃止(06～07年)などを実施し、連動して国民健康保険・介護保険料が大幅に引き上げられました。昨年(08年)4月から実施された後期高齢者医療制度や年金の満額支給時期の後退とあわせて、ますます退職後の生活は厳しくなっています。

高齢者切捨ての冷たい政府の動きに対し、「こだま会」はいち早く「後期高齢者医療制度の中止・撤回を求め」署名にとりくみ659筆を集め、社会保障推進協議会を通して国会に提出しました。

松沢県政は県立6病院の独立行政法人化を決め、県民が安心してかかる医療要求よりも、経済効率最優先の政策をとりました。これに対し「こだま会」は県職労連や県民連絡会等で作る「地域医療の充実と県立病院の直営を求める会」に参加し、

II 会員参加の会報づくりと趣味活動

会員相互をつなぐ会報は、年金、医療、介護、増税問題などの情報や

「安心・安全の医療の提供と医療水準の向上維持を」と運動しています。



生麦事件跡探訪とキリンビール工場見学(08.10.10)

趣味活動、高齢期運動のとりくみなどの様子を計画どおり4回(80～83号)、A4版で発行しました。「字が大きくって読みやすくなった」など好評です。「会員参加で豊かな情報」の目標は、広報委員会の努力と皆さんの協力で前進しています。

会員の趣味や特技をいかして楽し

く交流を深める活動は、囲碁同好会の例会や恒例の北海道スキー旅行などがありますが、10月10日「生麦事件歴史探訪とキリンビール工場見学」(20人参加)や11月19日～20日「秋の紅葉・伊豆稲取温泉一泊旅行」(21人参加)をとりくみました。

囲碁同好会は12月2日「かながわ労働プラザ祭り」で囲碁大会の企画を担当し、県職員OBと現役など69人が参加、祭りを盛り上げました。

神奈川県自治労連退職者会の「手づくり文化祭」は10月26日に開かれ13人が参加。俳句、油絵、絵手紙、水彩画、写真などを展示、演芸にも参加しました。

○歴史教室

講義 9月・3月(10人～13人)
散策 6月・11月(9～10人)

○楽しい俳句教室

毎月第3木曜日(11人～13人)
○食と文化を楽しむ会(薬膳料理) 7月(20人)

○囲碁同好会

例会、毎月第1日曜日(10～16人)
○料理教室(県職労連壮年部と共催) 10月(20人)

○北海道スキー旅行

09年1月25～28日(19人)
○農業体験・援農を楽しむ会 8月(12人)

趣味の会の世話人の皆さんには

日々ご苦労をおかけしましたことを深く感謝し、これからもより一層、お世話下さる方が増えることを期待しています。

05年11月にオープンした会のホームページは、会報以外の情報提供も含めてその充実引き続き努力しています。過去の会報を整理し、ホームページにアップしていきますのでぜひご覧ください。しかし、会員の皆さんからの季節の便りや写真、地域の情報、暮らし向きなど多彩な活用にはいたっておりません。皆さんからのお便りをお待ちしております。

III 会員加入状況と会の運営

会員の総数は09年1月現在1、350人を超えています。今年度の加入者は年会員9人、終身会員40人の計49人。加入の働きかけは、給与厚生課主催の退職者説明会5回(1月中旬～2月中旬)と県職労連各支部の退職者の集いで実施しました。また、現職時に加入した火災共済の更新手続きに際して、会への加入資料を同封して加入を呼びかけています。

○会の運営は、毎週火曜日を軸に事務処理と必要な打合せ会議を合せるようにし、交通費等経費の節減をはかっています。

○会報の発送作業や各趣味活動等の

2008(平成20)年度 一般会計収支決算書

(2008年4月1日～2009年3月31日) (単位:円)

収 入			支 出				
項 目	予算額	決算額	項 目	予算額	決算額	摘 要	
年 会 費	240,000	273,000	3,000×91口	事 務 局 費	850,000	813,487	
終 身 会 費	1,200,000	1,000,000	25,000×40人	行 動 費	350,000	208,010	
県職労連交付金	685,000	685,000		広 報 費	950,000	820,477	
共 済 助 成 費	1,000,000	1,125,783		総 会 費	450,000	350,774	
雑 収 入	145,341	136,891		会 議 費	400,000	305,620	
積立金取崩し	700,000	588,822		通 信 費	250,000	179,231	
寄 付 金	0	0		弔 慰 金	80,000	85,000	
前年度繰越金	729,659	729,659		負 担 金	50,000	50,000	
				積 立 金	1,200,000	1,000,000	
				予 備 費	120,000	0	
				次年度繰越金		726,556	
合 計	4,700,000	4,539,155		合 計	4,700,000	4,539,155	

2008(平成20)年度 積立金会計収支決算書

(2008年4月1日～2009年3月31日) (単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	決算額	項 目	予算額	決算額
前年度繰越金	14,925,137	14,925,137	本年度支出	700,000	588,822
本年度収入	1,202,863	1,017,092			
内訳	積立金	1,200,000	1,000,000		
	利息	2,863	17,092	次年度繰越金	15,428,000
合 計	16,128,000	15,942,229	合 計	16,128,000	15,942,229

とりくみについては、世話人の方がたの協力に助けられています。

IV 高齢期運動への参加と共同のとりくみ

高齢者に対するきびしい状況が続いています。08年9月8日、9日に第22回日本高齢者大会(新潟)があ

り役員3人が参加。11月12日の「第4回輝け高齢期かながわのつどい」(相模原南市民ホール)には役員7人が参加。情勢を学び、とりくむ課題について交流を深めました。

05年12月に結成された「神奈川県職員九条の会」の「結成3周年記念の集い」(12月15日)には、こだま会

会計監査報告

2009年4月21日

神奈川県職労連退職者こだま会
代表幹事 生方武羅夫 殿

2009年4月21日、こだま会事務室において2008年度一般会計及び2008年度積立金会計について、それぞれの会計帳簿、収支証拠書類、預金通帳等の監査を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。

会計監査 木村武子 ㊞
会計監査 辻村 博 ㊞

会員も多数参加。OBが居住する地元で「九条の会」の立ち上げや世話役、事務局で活躍されていることが報告されました。

全国自治体退職者会連絡会には前年同様1人を、神奈川県自治労連退職者会には5人を役員として送り、総会をはじめ年間の活動に協力、参加しています。

なお、同連絡会では毎年3月、厚生労働省と年金、介護保険、国民健康保険制度の改善要求で交渉をおこなっています。

V 弔慰金廃止問題について

「配布物が返送されてしまう」「ご本人が転居されても転居先がわからない」「ご遺族と連絡が取れない」な

I 私たちをとりまく情勢

2009年度活動方針案

どのケースが増えています。そうした問題から、終身会員の死亡に伴う弔慰金の廃止と、それに替わる「祝い金制度」の問題が議論になっていました。昨年の定期総会で出た意見を尊重しつつ幹事会で議論をしましたが、結論に至っていません。

サブプライムローン問題に端を発したアメリカ経済の危機は深刻化の一途をたどり、08年9月にはアメリカ大手証券会社リーマン・ブラザーズが破綻しました。これによってアメリカの金融・経済危機が一気に表面化し、それが引き金となって世界経済全体が危機に陥りました。

日本で経済危機のツケを真っ先に押し付けられたのは、労働法制の規制緩和によって大量に生み出された派遣や請負などの非正規労働者でした。トヨタやキヤノンなどの大企業は「皮下脂肪」をたっぷり溜め込み、株主配当を増やしながら賃金は抑制し、「派遣切り」や「期間工切り」を強引に推し進めています。厚生労働省の調査によっても、昨年10月から今年6月までの間に失職する非正規労働者は19万人を超え、本年3月末までの正社員の解雇数は1万2千人

を超えています。このような雇用の削減が個人消費を落ち込ませている大きな原因の一つです。外需頼みではなく国民の懐を温める政策に転換しない限り、日本経済の発展は見込めません。それにも係わらず、政府提出の2010年度税法法案は、新たな大企業優遇税制を盛り込む一方で、消費税増税の法制化を「付則」に書き込み、大衆課税の強化を目指しています。

このような経済情勢の下で、格差を増大させた新自由主義政策に反対する声が国民の間に大きく広がっています。年末年始の「派遣村」開設を始めとする雇用、生活、住居の保障を要求する労働者・市民の活動は、中途解雇の撤回や被解雇者の住居の保障などを勝ち取ってきました。これは、運動によって行政や企業の態度を改めさせ、要求が実現できることを示しました。

麻生内閣は、国民生活が陥っている深刻な事態を抜本的に解決しようとせず、小手先の施策により国民の支持をつなぎ止めようとしています。報道機関の世論調査でも明らかのように、国民はすでに麻生内閣を見限っています。麻生内閣は一刻も早く衆議院を解散して国民の審判を仰ぐべきです。

自公政権の弱体化に伴って、現在、

平和憲法改悪の動きが止まっているように見えますが、来年5月の国民投票法施行に向けて憲法改悪の策動は強まるものと思われれます。また、田母神元空幕長の「日本が侵略国家であるというのは濡れ衣である」とする言説は、歴史を歪曲するものであると同時に平和憲法に対する挑戦です。アフリカ・ソマリア沖の海賊対策のため、自衛艦2隻が派遣されましたが、この警備活動では「実戦」が行われる危険性もあり、そのような自衛隊の「海外派兵」の拡大を許すわけにはいきません。こういう情勢下にあつて、私たちは憲法九条擁護の運動を引き続き強めていかなければなりません。

県内にある米軍基地は県民の生活と安全を脅かしていますが、米軍横須賀基地には、昨年9月、原子力空母ジョージ・ワシントンが配備され、住民生活に新たな脅威が生じています。これに対し、横須賀市民を初めとする広範な人々の反対運動が持続的に展開されています。

神奈川県政をみると、松沢知事の下で、県民の命とくらしを守る砦となるべき地方自治体の役割を放棄し、県民の福祉・医療の切捨て、自治と県民サービスの担い手である職員削減が進められています。特に、県立6病院の独立行政法人化(3月

県議会承認)は、県民の医療に対する県の責任を放棄するものであり、絶対に認められません。また、松沢知事は「道州制」の推進役となつていますが、これは「道府県の完全自治体化」という戦後地方自治の柱の一本を取りはずし、憲法の地方自治原則を根底から破壊するものにはなりません。私たちは地方自治体の退職者としてこのような動きに反対し、地方自治擁護・確立の運動を進めます。

介護

介護保険サービスを受けるには要介護認定を受けなければなりません。本年4月からこの要介護認定方式が変りました。

全日本民主医療機関連合会(民医連)は、新しい介護認定方式により1次判定を試みたところ、現在の要介護度より軽度の判定結果となった人が多数に上つたと発表しています。要介護認定方式の改悪により、給付費を284億〜384億円削減できると明記した内部文書を厚生労働省が作成していたことが明らかになっています。今度の改定が給付費の削減にあることは明白です。要介護度がある程度に変更されることにより、要介護者(家族を含めて)の生活が成り立たなくなる恐れがあります。このような「保険あつて介護なし」の制度を抜本的に改め、要介護者が必要

な介護を適切に受けられるようにしなければなりません。また、介護報酬を適正に引き上げ、介護事業が経営的に成り立つよう保障し、介護環境を整備することが介護サービス充実のために必要です。

医療

昨年4月から「後期高齢者医療制度」がスタートし、保険料の年金からの天引きが始まりました。本年4月からは口座振替方式も選択できるようになりましたが、自動的に引き去られるという本質は変わりません。なお、保険料の均等割が軽減されていた世帯のうち、一部は負担増、一部は負担減となりますが、過酷な保険料負担とあって、この制度は後期高齢者の怨嗟の的となつています。しかも、保険料滞納者は保険証を取り上げられます。高齢者が安心して医療を受けられない、このような制度はただちに廃止すべきです。

住民税も年金から天引き

08年度地方税法等改正により、09年10月から、公的年金受給者の住民税(個人県市民税)が年金から天引きされることになりました。対象者は①住民税が課税されている人、②前年中に公的年金の支払いを受け、公的年金所得がある人、③4月1日現在で65歳以上の人、④介護保険料が年金から天

2009(平成21)年度 一般会計収支予算書(案)

(2009年4月1日~2010年3月31日) (単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
年 会 費	240,000	3,000×80口	事 務 局 費	850,000	
終 身 会 費	1,000,000	25,000×40人	行 動 費	350,000	
県職労連交付金	685,000		広 報 費	950,000	
共 済 助 成 費	1,100,000		総 会 費	450,000	
雑 収 入	148,444		会 議 費	400,000	
積立金取崩し	700,000		通 信 費	250,000	
寄 付 金	0		弔 慰 金	100,000	
前年度繰越金	726,556		負 担 金	50,000	
			積 立 金	1,000,000	
			予 備 費	200,000	
合 計	4,600,000		合 計	4,600,000	

2009(平成21)年度 積立金会計収支予算書(案)

(2009年4月1日~2010年3月31日) (単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	15,353,407		本 年 度 支 出	700,000	
本 年 度 収 入	1,006,593				
内 訳	積立金	1,000,000			
	利 息	6,593	次年度繰越金	15,660,000	
合 計	16,360,000		合 計	16,360,000	

②戦争体験を語り継ぐ
戦争体験の風化が言われていま
す。貴重な戦争体験を次世代に語り
継ぐために、戦前・戦中の戦争体験
記を募集し、文集などに生かします。

①会員の顔が見える『こだま会報』
めざして
年4回、定期的に発行される『こ
だま会報』は会員の楽しみのひとつ
で、心待ちにされています。他都府
県の退職者会からも注目されていま
す。今年度も発行は6月・8月・10月・
1月を予定しています。

②活動の計画
③健康が第一
会員の一番の関心事は健康問題。
「健康講座」の開催をめざします。
④楽しい集い
みんなで楽しめる集い、お花見会
やみかん狩りの計画を立てます。
⑤趣味の会の活動
活動の充実のためには、それぞれ
の会で企画し、実行する「世話人」
が不可欠です。こんなことをやって
みたい、という方の現れることを期
待します。現在、次の「趣味の会」
が活動しています。
(1)囲碁同好会(毎月第1日曜日)
(2)俳句教室(毎月第3木曜日)
(3)歴史教室(講座2回・散策2回)
(4)食文化を楽しむ会・薬膳料理
(夏・秋)
(5)料理教室(県職労連壮年部と共
催・秋)
(6)スキー・ツアー(冬)
(7)援農体験・農業を楽しむ会
⑥ホームページの充実
こだま会活動をお知らせし、交流
するこだま会のホームページを充実
させます。

③健康が第一
会員の一番の関心事は健康問題。
「健康講座」の開催をめざします。
④楽しい集い
みんなで楽しめる集い、お花見会
やみかん狩りの計画を立てます。
⑤趣味の会の活動
活動の充実のためには、それぞれ
の会で企画し、実行する「世話人」
が不可欠です。こんなことをやって
みたい、という方の現れることを期
待します。現在、次の「趣味の会」
が活動しています。
(1)囲碁同好会(毎月第1日曜日)
(2)俳句教室(毎月第3木曜日)
(3)歴史教室(講座2回・散策2回)
(4)食文化を楽しむ会・薬膳料理
(夏・秋)
(5)料理教室(県職労連壮年部と共
催・秋)
(6)スキー・ツアー(冬)
(7)援農体験・農業を楽しむ会
⑥ホームページの充実
こだま会活動をお知らせし、交流
するこだま会のホームページを充実
させます。

①憲法の改悪に反対し、平和・人権・
民主主義を守る運動を推進しま
す。「神奈川県職員九条の会」と連
携し、憲法9条擁護の運動をすす
めます。
②税制の改悪で、高齢者の税負担は
重くなっています。消費税の税率
を下げることや、法人税の税率を
上げることなどで、年金生活者の
生活を守り、ワーキング・プアを
なくすことを要求します。
③高齢者の医療制度の充実をめざし
ます。多くの反対のなかで昨年4
月スタートした後期高齢者医療制
度は、見直しを余儀なくされ「検
討会」が発足しましたが、私たち
はこの制度の廃止を要求します。
④年金・介護保険の制度の充実など、
全国自治体退職者会連絡会を始
め、要求で一致する団体と協力作
り、高齢期運動を推進します。
⑤有利で安心な火災共済・自動車共済・
交通災害共済・がん保険などの福
利厚生事業を引き続き実施します。
⑥法律・年金・税金・介護保険・成
年後見制度・住宅バリアフリー化
などの問題で、信頼できる専門家
を紹介します。
⑦こだま会事務局は、毎週火曜日(祝
祭日を除く)の午前10時から午後
4時まで開きます。

①憲法の改悪に反対し、平和・人権・
民主主義を守る運動を推進しま
す。「神奈川県職員九条の会」と連
携し、憲法9条擁護の運動をすす
めます。
②税制の改悪で、高齢者の税負担は
重くなっています。消費税の税率
を下げることや、法人税の税率を
上げることなどで、年金生活者の
生活を守り、ワーキング・プアを
なくすことを要求します。
③高齢者の医療制度の充実をめざし
ます。多くの反対のなかで昨年4
月スタートした後期高齢者医療制
度は、見直しを余儀なくされ「検
討会」が発足しましたが、私たち
はこの制度の廃止を要求します。
④年金・介護保険の制度の充実など、
全国自治体退職者会連絡会を始
め、要求で一致する団体と協力作
り、高齢期運動を推進します。
⑤有利で安心な火災共済・自動車共済・
交通災害共済・がん保険などの福
利厚生事業を引き続き実施します。
⑥法律・年金・税金・介護保険・成
年後見制度・住宅バリアフリー化
などの問題で、信頼できる専門家
を紹介します。
⑦こだま会事務局は、毎週火曜日(祝
祭日を除く)の午前10時から午後
4時まで開きます。

II 活動の目標と計画(案)

引きされている人です。公的年金所
得以外の所得に係る住民税額は公的
年金からの天引きの対象にはなりま
せん。介護保険料の天引きから始ま
り、次から次へと天引きが拡大して
います。このようなやり方は、高齢
者のやりくりを著しく困難にしてい
ます。

1 活動の目標

III 役員改選について

今年度は役員改選期です。役員選
考委員会から総会時に候補者を提案
します。



昭和16年、国民学校に入學。12月には太平洋戦争勃発。「欲しがりません勝つ迄は」などの標語に従

い、戦争が激しくなる19年には学童疎開。やがて終戦を迎え、傘や長靴も乏しい青空教室に戻り、新制中学、共学の新制高校に進んだ。社会科の副読本『民主主義』で、「公務員はパブリック・サーバン

ト」と教えられた。
* * *
卒業後、県に就職。

農林部水産課生産係は男性の技術職員6人と事務職員は私1人。やはり初めての職場の印象は深い。電話・起案文書の浄書、朝の机拭きとお茶汲みが大半であ

る。当時、相生町にあった特別調達局から、「米軍が茅ヶ崎沖で演習する何月何日は注意」というような文書がくると、県は各漁業組合長宛に知らせる書類、また小型船舶の登録も多く、申請に基づいて知事印を押して送る。文書課のある1階まで、4階から何回も昇り降りした。

* * *
浄書も洋罫紙のほか美濃版罫紙も

来し方のこと

あり、何枚もカーボン紙をはさみ、セロファンを置いて鉄筆で書く。やり板に原紙を置いて鉄筆で切り、謄写版で印刷する。紙擦(こより)もよくよった。計算はもっぱら算盤とタイガー計算機である。城ヶ島大橋の竣工はこの時期である。10年過ぎて山下町の研修所に転勤、夜は英会話教室に通った。46歳で日本女子大学通信教育部を卒業した翌年、15年目に川崎の勤労婦人会館へ転勤。おりしも昭和60年(1985)に男



亀井禎子さん
(横浜市在住)

女雇用機会均等法は成立した。

* * *
63年、大和保健所へ異動。母子保健を担当。ワードプロセッサを使うようになった。平成に年号が変わる。平成3年に父を亡くした。

平成7年3月31日、42年間勤めた県を定年退職。引き続き非常勤職員として海老名の産業技術総合研究所相談室の受付を3年手伝って仕事を終了した。大和に勤務していた時に夜、国際化協会の講座を受講してい

て、定年と同時に外国人への日本語指導のグループで、木曜夜、活動してきたが、昨年10月、若い人達に後を託して退いた。

* * *
現在は高齢の母の援護を主にしながら、大学同窓会の回生幹事をつとめたり、薬膳料理の勉強を少しずつ続けている。絵は60年近く前に両親から贈られた油絵の道具箱を使っている。プロのきびしさにはかなうべくもなく一向に上達しないが、折にふれ描くことで安らいだり、反省したりである。

* * *
家族・職業・学校・地域・こだま会等を通じて、既に鬼籍に入られた方々も含め、出合ったたくさんの方々に支えられ、育てられた事に感謝しながら、一方、あまり明るくない後期高齢期をいかに穏やかに生きていかれるか、模索中である。

(かめい ていこ)



「植物園の水辺」 亀井禎子さんの作品

こだま俳壇(4月)

- 夕東風に垂る国連旗 キャンプ座間 小川 水草
- 六地藏赤い前垂れ花彩々 木村 武子
- 花冷えや反戦つづる書道展 島田多嘉子
- 荒東風を潜りてほつと我家かな 白井保次郎
- 友の墓さがす老婆や彼岸入り 白石 為康
- 足病みて三年迎えし花見かな 鈴木志げ子
- 春雷や出足くじかれ家の守 高橋 和江
- 春の野や連山のいはれ説く老爺 鳥海 敏雄
- 筍の籠きしらせて漢去る 中村 桂子
- 若布採る影二つのみ昼の浜 松尾佐知子
- 三姉妹揃う一日や桜咲く 三井みつ子
- 花吹雪一片髪にとどまりぬ 横川美代子
- 山雀が浮かんで沈む花の雲 井村 友彦
- たかなの藪さに遠き父のあり 山本つぼみ

楽しい趣味の会

歴史教室
史講義

源頼朝暗殺未遂か？ 曾我兄弟事件のなぞ

3月9日、10人出席。

曾我兄弟事件には、さまざまな謎がある。「親の仇討ちという美談ではなく、実は、工藤氏に関わる土地の相続争いが本当であった」という大胆な仮説から、中村猪一郎講師の話は始まった。戦前の教育では、「曾我兄弟の事件」は親の仇討ちの美談として教えたが、戦後の教科書には載っていない。戦前からの教師経験を持つ中村講師は実感していると語る。仇討ちを遂げて果てた曾我五郎・十郎兄弟は、当時の民衆の心を打ち、史実を超えて悲劇のヒーローとして、江戸時代の歌舞伎や謡曲で有名

になっていく。兄弟の怨念が「御霊」となってさまよっていると、各地で神社仏閣にまつられている。神奈川県内では、下曾我の城前寺(兄弟の墓がある)、二宮の知足寺(兄弟の供養塔婆がある。兄弟の異父姉・二宮朝忠室の地)、大磯の虎御前の地(兄十郎の女)などがある。

さて、曾我兄弟の仇討ちは、建久4年(1193)5月28日夜、源頼朝が催した富士の巻狩りの野営地で遂げられた。頼朝の家臣に厳重に守られた野営地で、頼朝の家臣・工藤祐経を討つことは、兄弟の力だけでは祐経の仮家にも近づくことはできない。また、仇討ち後、兄弟は頼朝の仮家に斬り込んでいた。兄弟を助け、祐経と頼朝の仮家に導いた者がいる謎である。

中村講師は、『吾妻鏡』が兄弟の仇討

ちの記述から、正治2年(1199)、岡崎義実没までの記述により冒頭の仮説を導いている(『吾妻鏡』に頼朝の死(1199)の記述にないところも不思議と)。工藤氏に関わる土地の相続争いは、兄弟の父祐泰の直系祖の祐隆が、嫡男以外の祐継・祐経(祐隆が後妻の連れ子・水草に産ませた子)に相続したことに端を発している。

また、兄弟の仇討ちを助けた御家人による「頼朝と北条時政を狙ったクーデター」ではなかったのではというもう一つの仮説がある。その御家人集団は、相模武士団である。北条氏一族は頼朝と組んで所領を拡大し出世していく。一方、関東武士は頼朝の旗揚げから忠義を尽くしているのに報われない。この不満が相模武士団として兄弟をけしかけ、「仇討ち」に便乗したのではないかなど、興味が尽きない話であった。(湯川 勉)

囲碁同好会



囲碁同好会のおかげで上達
2003年8月に始まった「囲碁同好会」は、今年5月で69回目を迎えました。

- 予告!! 予告!! 予告!!**
- 歴史教室 (散策)
 - とき 6月15日(月)小雨決行
 - 集合 京急「三崎口駅」改札口前10時
 - コース 三浦・三崎に頼朝ゆかりの寺社を探訪
 - 昼食 外食予定(自費)
 - 参加費 500円・ガイド中村猪一郎会員
 - 申込先 電話&Fax 045 (361) 0112 (佐藤喜治)
 - 歴史教室 (講義) …見学自由
 - テーマ 太平記から
 - とき 9月14日(月)13時30分~15時30分
 - ところ こだま会事務所がある横浜台庁5階会議室
 - 参加費 無料
 - 講師 中村猪一郎会員
 - 申込先 電話&Fax 045 (361) 0112 (佐藤喜治)
 - 囲碁同好会
 - 月例会 (毎月第1日曜日)
 - とき 6月7日 7月5日 8月2日
 - ところ 囲碁サロン「有心」
横浜駅西口大洋ビル6階
 - 会費 700円
 - 申込先 こだま会事務局 045 (212) 3179
登 豊吉 045 (824) 7155
青沼慶祐 045 (782) 7665
 - 俳句教室 (楽しい句会です)
 - 月例会 (毎月第3木曜日午後1時~)
 - とき 6月17日 7月16日
 - ところ こだま会事務所
 - 指導 山本つぼみ先生(阿夫利嶺主宰)
 - 会費 500円
 - 申込先 こだま会事務局 045 (212) 3179
又は小川政則 042 (742) 2253
 - 食文化を楽しむ会
 - とき 7月中旬予定
 - ところ 横浜市西区センター(横浜駅西口徒歩10分)(調理実習室)
 - テーマ 暑さに負けない夏の薬膳料理(仮)
 - 先生 上野多恵子さん(会員)
 - 会費 1800円
 - 申込先 亀井禎子 045 (332) 4061
山本文子 03 (3728) 2227

幹事の登さんが、こだま会会員以外の現役の職員、囲碁クラブの方々に声かけをして参加者を増やしてくれました。6段から5、6級の、また入門者の人まで幅広く参加されています。私も3回ほど欠席しましたが(アキレス腱を切ったため)、初回から連続して参加しています。腕前も、初めは12級から。現在は1、2級程度に上達しました。囲碁同好会のおかげです。またNHKの囲碁講座やNHK杯の対局を視聴して勉強を続けています。この頃は、負けても最後まで我慢し、勝負するようになりました。(青沼慶祐)

楽しい趣味の会・北海道スキー



写真提供：野沢季子さん

“元気印”でゲレンデに

恒例のこだま会「北海道スキー」。1月25日から28日の3泊4日で、富良野スキー場で楽しんできました。1人が前日キャンセルで、今回は19人だった。

羽田空港では、天候不良で他の空港又は羽田に引き返すかもと告げられ、幸運を祈る思いだった。参加者の善行が通じたのか、何事もなく無事に着く。常宿である新プリンスホテルは、昨年より人出も多くあり、

安心した。

用意のできた“元気印”は、ゲレンデに直行。早々と雪の感触を味わう。広大なゲレンデ。生き返るような冷気。まさに健康で生きられた充実感を味わった。

今回からホテル内に温泉が引かれ、手足を伸ばしゆっくり安らいだ。値が張る夕食もあり、各自の好みで済ませる。

今回も天候に恵まれ、霧氷やダイヤモンドダストなど、寒い北国の自然美・造形美を堪能。楽しいことは

短い。もう帰る日となる。

全員健康な喜びに満たされ、羽田にて解散。

(叶井進一)

編集 後記

▼いよいよこだま会の定期総会です。皆さんお元気ですか▼年に一度の機会です。交流を深め、“元気印”で頑張らしましょう。(と)

山作り・里山のボランティア

雨宮 和雄



私は、海老名里山ボランティア『山仕事の会』で活動しています。

会員は、定年過ぎの気持ちの若い老人約35人、女性も6人ほどで、豊かな自然を市民共有の財産とし、里山の保全と環境水源保全等を守り育てることを目的として、和気藹々と作業しています。月3回程度、10時から午後3時まで。弁当持参です。

里山は個人の山なので、作業の許可をもらいボランティアで作業します。山は手入れが出来ず荒れていて、ゴミなども捨て

られ、林の中には入ることも出来ませんが、手入れをした後は見通しも良く、「散策も出来るように明るく安全になった」と持ち主や近辺の人にも喜ばれています。

作業は、下草刈・間伐・枝打ち

動もやっています。道具等は鋸と鉋なたを持参、その他は会員の年会費と山の持ち主に賛助会員になってもらい、購入しています。昨年は新たに20年度神奈川県水資源環境保全再生

の森創造事業』に参加。緑化まつりや環境フォーラム等のイベントで、『山仕事の会』を紹介し、竹細工・ドングリや松かさなどをを使ったクラフトコーナーを開き、市民や子どもたちの交流を深めています。

自然に接し四季を感じ、荒れた林を手入れし、綺麗になった所で皆で食べる弁当、本当に楽しい作業です。元気なうちは、ずっと続けていこうと思っています。

ち等で、誰の指示もなく自分のできることをやるのがモットーです。エンジン付きの刈払機やチェーンソー、枝や草等を粉碎機でチップ処理する危険な事もあるため、安全作業の講習等もあり、毎回作業前には皆で準備運

市民事業支援補助交付対象事業になり、補助金が交付されたことで機械類が導入できました。危険も伴いますが、作業が早く楽になりました。

その他の事業として、『えびな